

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	愛媛大学				
取 組 名 称	愛媛大学「食育」実践プログラム				
取組学部等	全学				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11057	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	教養教育	専門基礎	体験活動		
キーワード	食育, 愛媛大学食育士, 食リテラシー, 学部横断型プログラム, ピア・エデュケーション				

<選定理由>

本件は、平成 18～19 年に学生の食生活実態を調査し、その乱れを把握の上、その是正の必要性を背景に開始された「愛媛大学食育士」の取組が学内独自のGP企画に採用され、地道に改善方策を追求されたものが基礎となっており、今回①学生自身の正しい食生活への誘導、②社会に向けた愛媛大学独自の食育士を育成する、という二つの目標を持つプログラムで、きわめてユニークな発想に立っている。また大学全体、全学部にわたって推進するという点でも、これまでに例の少ない取組である。

さらに各年次ごとに、次第に学びのステージを上げ、順次食生活の改善、食育士の育成へと進めていく点でも、きわめて妥当な計画となっている。学外の保健関係、食や農業関係の機関との連携もあり、実現性が高いと判断される。

取組の具体的なイメージがはっきりしない点もあるものの、全体として、社会的に重要な問題でもあり、内容もユニークなものであることから、高い評価が与えられる。

取組の概要【1ページ以内】

現代社会では「食」を取り巻く社会環境が大きく変化し、食に関わる多くの問題が個人の力では解決できない大きな社会問題となってきた。このような現状を受け、国は「**食育**基本法」と、それに伴って策定された「**食育**推進基本計画」に基づき、「**食育**」に積極的に取り組み始めた。

愛媛大学農学部では、大学生の実態を調べるために、平成18年度と19年度に食事に関するアンケートを実施した。その結果、①20%の学生が欠食、②食事の時間が不規則、③栄養のアンバランス、④料理が作れない等、「食」の乱れ、「食」に関する知識不足が浮き彫りになった。

一方では、大多数の大学生は、①親元を離れ下宿している、②自宅生も卒業して社会人になると一人暮らしを始める、③数年以内に親となり、子供を育てる、等の経路をたどるため、大学時代というのは、総合的な体系として「**食リテラシー**」を学ぶには、最後の時期であると言える。

以上を背景として、農学部が副専攻プログラムとして開始した「**愛媛大学食育士**」の取組は、平成19～20年度の「愛媛大学教育改革推進事業（通称：愛大GP）」に採用され、学内の審査では高い評価がなされた。

今回の取組は、愛媛大学が「**食育**」を重要な教育課題と位置づけ、全学生に「**食リテラシー**」の初歩を身につけさせる「正しい食への誘い」プログラムと食育の実践者を養成するプログラム「**愛媛大学食育士**」プログラムを設置するものである。

①「正しい食への誘い」プログラム（愛媛大学生全員必修）：**食リテラシー**を学習・実践するものである。本プログラムは、今回創設する共通教育センター食育部会が「総合健康センター」と「大学生協」と連携して実施するもので、授業と卒業まで継続して半年に1回実施される健康・食事チェックシートを基にしたフォローアップにより、**食リテラシー**を身につけることを目的としている。

②「**愛媛大学食育士**」プログラム（「**食育**」の実践者養成、最大50名）：「**愛媛大学食育士**」は、本学が独自に認定する資格で、栄養学、生産・流通経済、循環型社会、地域食文化等に関する幅広い知識に基づいて、食を総合的に理解し、自らがつくり、その大切さを伝える（“知る－作る－伝える”）ことの出来る人材である。本プログラムは4つのステージから構成される。ステージ1では、**食育**基本法、食事バランス・栄養バランスを考えた日常の「食」構成を学ぶ。ステージ2では、日本の食料生産の現状、食を通じた健康管理、食文化を学ぶ。ステージ3では、栄養学および食品安全学など専門的知識を修得する。ステージ4では、実習・演習・実験および上記プログラムとの連携を通して、今まで学んだ知識を活用する能力と人に伝える能力を養う。

プログラムの特徴：①**学部横断型プログラム**（両プログラムとも）、②**ピア・エデュケーション**形式の採用（両プログラムの連携）、③実践的科目（実習、実験、演習）の重視（必要単位数の1/3）。（「**愛媛大学食育士**」プログラム、23単位）

実施体制：これらの取組の実施・評価は、愛媛大学教育・学生支援機構による統括のもと、共通教育センター、各学部、総合健康センター及び大学生協、さらに愛媛県下の栄養関連教育行政機関（短大、保健所）等との連携により行う。